



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年6月27日

上場会社名 株式会社 さが美 上場取引所 東
 コード番号 8201 URL <http://www.sgm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平松 達夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(業務担当) (氏名) 宿野 大介 TEL 045-820-6002
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月1日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績（平成26年2月21日～平成26年5月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	4,691	3.2	△466	—	△462	—	△514	—
26年2月期第1四半期	4,547	△11.4	△653	—	△649	—	△689	—

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 △530百万円 (—%) 26年2月期第1四半期 △639百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	△12.96	—
26年2月期第1四半期	△17.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	13,339	6,297	47.2
26年2月期	13,324	6,828	51.2

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 6,297百万円 26年2月期 6,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年2月21日～平成27年2月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,640	3.4	40	—	50	—	△110	—	△2.77
通期	23,300	2.0	220	—	240	—	△80	—	△2.01

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期1Q	40,834,607株	26年2月期	40,834,607株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	1,150,000株	26年2月期	1,146,965株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期1Q	39,686,184株	26年2月期1Q	39,713,720株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による財政および金融政策により、輸出関連を始めとした企業業績の改善などを背景に、緩やかな回復の傾向が続きました。個人消費におきましても、消費税率の引き上げ前においては、駆け込み需要により百貨店を中心に大手小売業の売上高が大きく前年同月を上廻るなど一時は好調に推移いたしました。しかしながら、消費税率引き上げ後には、反動による売上の落ち込みも起きており、大きな改善には至りませんでした。

当社グループにおきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年実績に対し103.3%（1億48百万円増）となりました。販売契約高においては、増税後の5月度が特に苦戦し、第1四半期の販売契約高前年比は93.1%に終わりました。

きもの事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の販売契約高は前年比96.5%と下廻りましたが、売上高は前年比104.9%と改善いたしました。これは、㈱さが美のきもの事業が売上高前年比102.1%（55百万円増）と改善できたことに加え、㈱東京ますいわ屋の売上高が、前年比で111.9%（1億26百万円増）と好調であったことも貢献いたしました。㈱さが美においては、日帰り展示販売会や、店舗に顧客をご招待する企画販売会が、前年実績を上廻ったことや、㈱東京ますいわ屋が京都万葉苑での大型展示販売会の実施を前倒して、増税前の駆け込み需要取り込みに成功したことなどによります。しかしながら、増税後の5月度においては、客数が減少し販売契約高の同規模前年比は93.1%に低下しました。

ホームファッション事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年比で96.0%と下廻りました。これは、増税直前1ヶ月は駆け込み需要により、リビング、キッチン関連を中心に売上高が前年比103.0%と増加したものの、直後1ヶ月では前年比87.3%と、その後の反動が大きかったことによります。

店舗面におきましては、きもの事業についてはデベロッパーの建て替えに伴い2店舗を閉鎖、デベロッパーの長期改装ならびに契約満了による閉鎖の代替店として、2店舗を出店いたしました。ホームファッション事業は、デベロッパーの新設に伴い1店舗を出店、効率の改善を狙って1店舗を閉鎖して既設SCに出店、業態の変更により3店舗を閉鎖して1店舗を出店いたしました。これにより当第1四半期連結会計期間末における店舗数は、㈱さが美222店舗、㈱東京ますいわ屋46店舗、グループ合計で268店舗となっております。また業態別店舗数は、きもの事業205店舗、ホームファッション事業63店舗、となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益46億91百万円（前年同四半期比3.2%増）となり、利益面においては、営業損失4億66百万円（前年同四半期比1億86百万円の改善）、経常損失4億62百万円（前年同四半期比1億86百万円の改善）、四半期純損失5億14百万円（前年同四半期比1億75百万円の改善）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、133億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加しました。これは主として、商品が増加したことなどによるものであります。

負債については、70億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億45百万円増加しました。これは主として、短期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産については、62億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億30百万円減少しました。これは主として、四半期純損失を計上したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気動向につきましては、消費税率引き上げの影響によって、一時的な消費の落ち込みは懸念されているものの、景気は緩やかな回復基調が持続すると期待されております。

当社グループといたしましては、期初に定めました総合戦略に沿って、営業力の強化と利益体質への転換に向けた構造改革を進めることによって、今年度の営業利益黒字化に向けて全力を尽くしてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在して
おります。

当社グループは親会社であるユニーグループ・ホールディングス株式会社の支援のもと、きもの事業を核とした事
業の再構築および経営コストの構造改革等の再建計画を策定し、平成21年2月期以降構造改革を進めておりました
が、きもの事業を取り巻く環境が引き続き厳しい状況にあり、平成24年2月期連結会計年度より3期連続して営業損
失を計上しており、当社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または
状況が存在しています。

このような状況に対して当社グループは、店舗のサービスレベルの向上と付加価値の高い商品の提供、そしてお客
さまのクラスター分類に合わせた営業活動をおこなうことによって、お客さまから「笑顔とありがとう」をいただく
ことを追求し、当該状況の解消に取り組んでまいります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	541,164	581,308
受取手形及び売掛金	1,083,643	992,393
商品	2,133,680	2,271,106
貯蔵品	8,289	6,719
その他	1,241,607	1,060,105
貸倒引当金	△468	△468
流動資産合計	5,007,917	4,911,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	310,306	344,133
土地	3,125,786	3,125,786
その他(純額)	52,695	106,254
有形固定資産合計	3,488,788	3,576,175
無形固定資産	14,496	68,396
投資その他の資産		
前払年金費用	216,535	267,888
差入保証金	2,895,919	2,834,731
その他	1,833,774	1,814,984
貸倒引当金	△132,504	△133,722
投資その他の資産合計	4,813,724	4,783,881
固定資産合計	8,317,009	8,428,453
資産合計	13,324,927	13,339,620

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,092,013	944,422
短期借入金	1,700,000	2,500,000
未払法人税等	167,050	42,750
前受金	1,391,153	1,491,101
賞与引当金	24,000	48,000
資産除去債務	18,914	—
その他	1,055,550	952,341
流動負債合計	5,448,682	5,978,615
固定負債		
退職給付引当金	408,416	398,179
資産除去債務	377,466	389,315
その他	262,320	276,045
固定負債合計	1,048,203	1,063,539
負債合計	6,496,885	7,042,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,217,235	9,217,235
資本剰余金	405,057	405,057
利益剰余金	△1,985,908	△2,500,228
自己株式	△351,109	△351,408
株主資本合計	7,285,275	6,770,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,124	77,168
土地再評価差額金	△550,359	△550,359
その他の包括利益累計額合計	△457,234	△473,190
純資産合計	6,828,041	6,297,465
負債純資産合計	13,324,927	13,339,620

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成25年2月21日 至平成25年5月20日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成26年2月21日 至平成26年5月20日）
売上高	4,503,601	4,652,355
売上原価	2,016,633	2,092,590
売上総利益	2,486,968	2,559,765
営業収入	43,924	39,357
営業総利益	2,530,893	2,599,122
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,271,925	1,254,129
賞与引当金繰入額	20,800	24,000
退職給付費用	39,255	43,113
賃借料	724,461	729,878
その他	1,127,962	1,014,912
販売費及び一般管理費合計	3,184,405	3,066,033
営業損失（△）	△653,512	△466,910
営業外収益		
受取利息	32	33
受取配当金	88	119
仕入割引	5,050	4,982
その他	4,082	1,799
営業外収益合計	9,253	6,935
営業外費用		
支払利息	4,003	1,783
その他	1,030	658
営業外費用合計	5,034	2,441
経常損失（△）	△649,293	△462,416
特別利益		
固定資産売却益	—	72
特別利益合計	—	72
特別損失		
固定資産除却損	5,544	887
減損損失	28	—
特別損失合計	5,573	887
税金等調整前四半期純損失（△）	△654,867	△463,232
法人税、住民税及び事業税	32,430	29,778
法人税等調整額	2,618	21,310
法人税等合計	35,048	51,088
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△689,916	△514,320
四半期純損失（△）	△689,916	△514,320

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△689,916	△514,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,672	△15,956
その他の包括利益合計	50,672	△15,956
四半期包括利益	△639,243	△530,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△639,243	△530,276
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。